

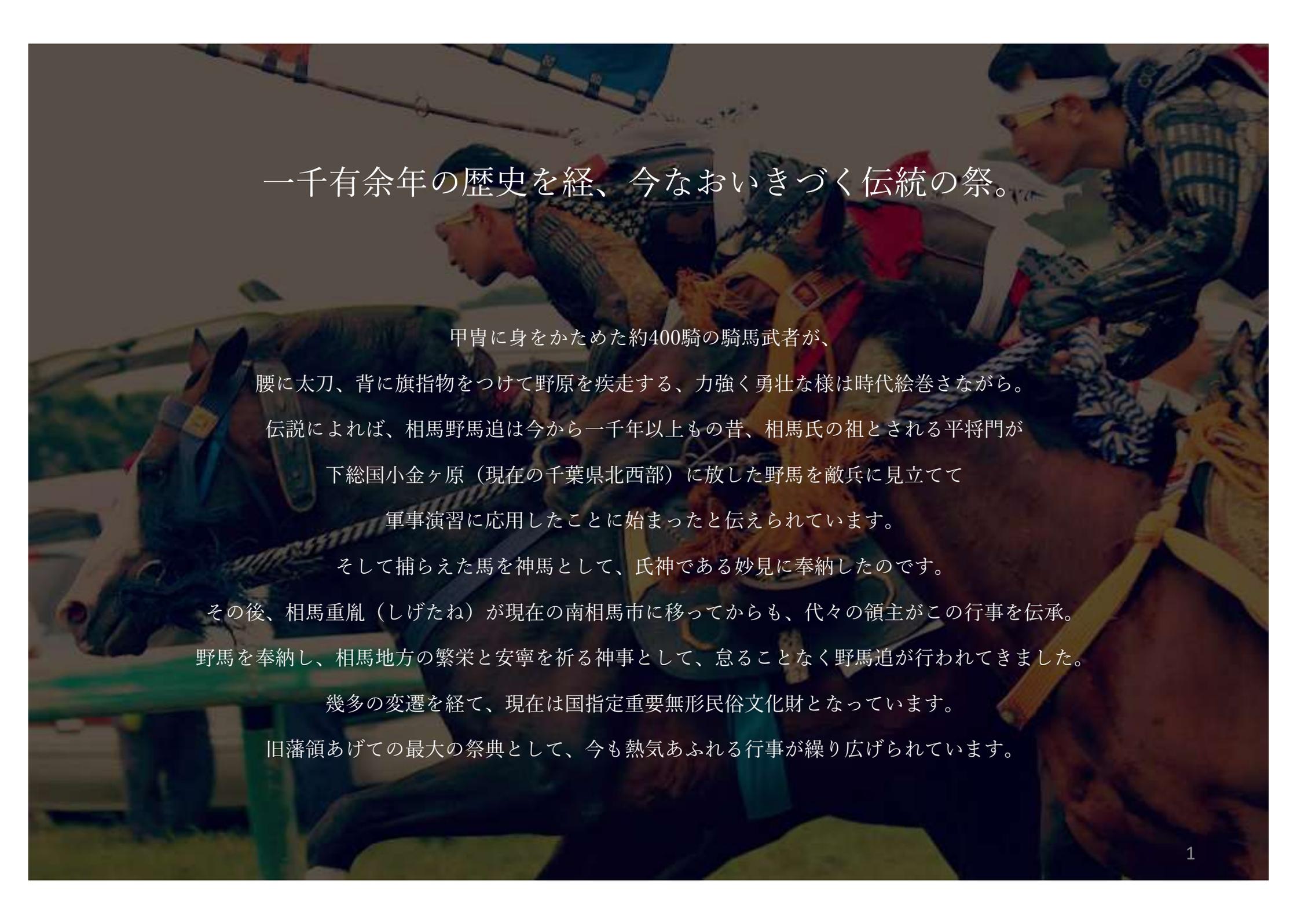
S O M A N O M A O I

相馬野馬追

協賛広告のご案内

令和8年5月23日(土)・24日(日)・25日(月)



A photograph of a traditional Japanese festival, likely the Aomori Wild Horse Chase (Aomori Utsu). The image shows several riders on horseback, dressed in traditional armor (yoroi) and carrying flags (nobori). They are riding horses in a line, possibly during a race or a ceremonial procession. The background is slightly blurred, focusing attention on the riders and their horses. The overall tone is historical and cultural.

一千有余年の歴史を経、今なおいきづく伝統の祭。

甲冑に身をかためた約400騎の騎馬武者が、
腰に太刀、背に旗指物をつけて野原を疾走する、力強く勇壮な様は時代絵巻さながら。
伝説によれば、相馬野馬追は今から一千年以上もの昔、相馬氏の祖とされる平将門が
下総国小金ヶ原（現在の千葉県北西部）に放した野馬を敵兵に見立てて
軍事演習に応用したことに始まったと伝えられています。
そして捕らえた馬を神馬として、氏神である妙見に奉納したのです。
その後、相馬重胤（しげたね）が現在の南相馬市に移ってからも、代々の領主がこの行事を伝承。
野馬を奉納し、相馬地方の繁栄と安寧を祈る神事として、怠ることなく野馬追が行われてきました。
幾多の変遷を経て、現在は国指定重要無形民俗文化財となっています。
旧藩領あげての最大の祭典として、今も熱気あふれる行事が繰り広げられています。



相馬野馬追について



主催

相馬野馬追執行委員会

執行委員長 門馬 和夫（南相馬市長）

所在地 〒975-8686

福島県南相馬市原町区本町2-27

南相馬市観光交流課内

電話 0244-22-3064

ファクス 0244-22-3100

Eメール somanomaui.from937@gmail.com

開催日時

2026年5月23日(土)・24日(日)・25日(月)

開催規模

出場騎馬数：383騎 観客数：約13万人

（令和7年実績／雨のち曇り開催）

野馬追の由来

相馬家の祖といわれている「平小次郎将門」は今をさかのぼること一千有余年の昔、新しい軍事力として馬の活用を考え、下総国小金ヶ原（現在の千葉県北西部）の牧に野生の馬を放牧し、関八州（北関東八ヶ国）の兵を集め、野馬を敵兵に見立て野馬を追い、馬を捕らえる軍事訓練として、また、捕らえた馬を神前に奉じ妙見の祭礼として行ったのに始まったと言われています。

その後、元亨3年（1323年）、相馬氏は陸奥国行方郡（現在の南相馬市）に移り住んでからも、代々の相馬家当主が、明治維新までこの行事を連綿と続けたのであります。

相馬家は鎌倉時代より幕末までお国替えのなかった希少な藩であり、現在でも総大将は相馬家の子孫が務めています。



主な取材実績

■新聞

- ① 朝日新聞
- ② 毎日新聞
- ③ 読売新聞
- ④ 日本経済新聞
- ⑤ The Japan Times 等

■雑誌

- ① Discover Japan
- ② 週刊朝日百科 日本の祭り
- ③ 旅行読売
- ④ 優駿 等

■テレビ

- ① NHK「列島ニュース」
「NHKニュース おはよう日本」
「特集ドラマ 絆 ～走れ奇跡の子馬～」
- ② テレビ朝日「ANNニュース」
- ③ 日本テレビ「news every.サタデー」
「まつりの遺伝子 (バトン)」
「ZIP!」
- ④ TBS「報道特集」
- ⑤ フジテレビ
「FNN Live News イット!」 等

相馬野馬追の魅力

国指定重要無形民俗文化財：風俗習慣：娯楽・競技とその観客動員数

☆ 相馬野馬追 (福島県)	約130,000人
○ 秩父吉田の龍勢 (埼玉県)	約84,000人
○ 牛の角突き of 習俗 (新潟県)	約17,800人
○ 刈和野の大綱引き (秋田県)	約7,000人
○ 三朝のジンショ (鳥取県)	約4,000人

※主催者発表による直近の観客動員数

海外遠征

アメリカ、イギリス、ロシア、ブラジルなどで相馬野馬追公演を行っており、世界に日本文化を発信しています。





会場のご案内



3日間で行われる相馬野馬追は各日で内容が異なり、ハイライトにあたるのが2日目の「野馬追」です。
野馬追は、南相馬市内の野馬追通りと雲雀ヶ原祭場が会場となります。

野馬追通り

県道鹿島・浪江線（野馬追通り）を車両通行止めとして、小川橋からメイン会場となる雲雀ヶ原祭場地までの約2.4kmを騎馬武者等が進軍する「お行列」が行われます。

雲雀ヶ原祭場地

雲雀ヶ原祭場地は約30,000坪、東京ドーム2個分以上の広さの原っぱで、1周ダート約1,000mの競馬コースを備えています。呼び物となっている「甲冑競馬」と「神旗争奪戦」が行われ、隣接した本陣山の山肌を観客席としてご覧いただきます。

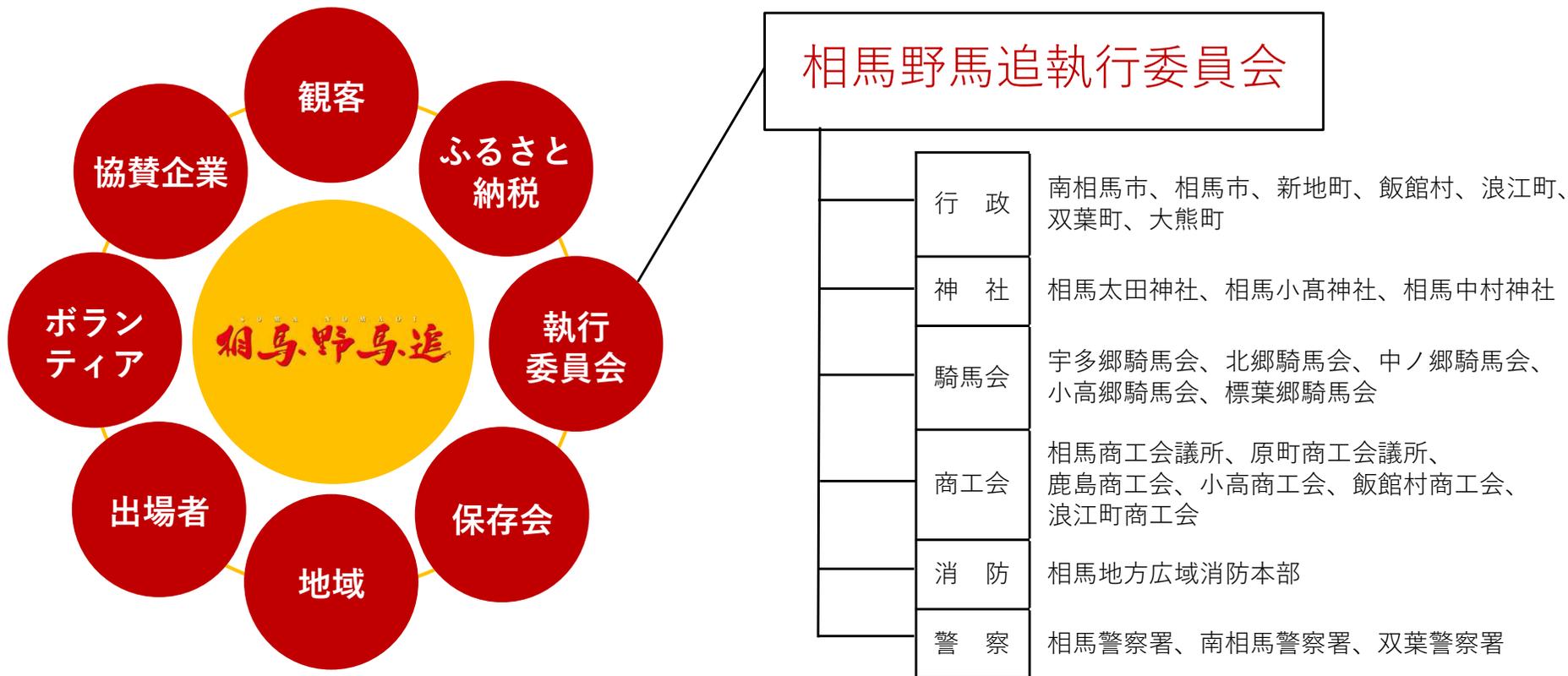


相馬野馬追を支える人たち



相馬野馬追は主催する執行委員会の力だけで成り立っているわけではありません。地域、出場者、行政、警察、消防などが連携して執行委員会を組織して、野馬追の伝統の灯を絶やさず歴史を紡いでいます。

また、観客だった方が、ふるさと納税やボランティアなどとして支える側に加わる例はたくさんあります。





協賛内容

オフィシャルうちわ

ご来場者が会場で涼を取られるのはもちろん、
来場者の記念グッズともなるアイテムです。



表:大会案内

裏: 広告面

配布期間 5月18日(月)から5月25日(月)まで

配布場所 事前：観光関連施設
当日：各会場／雲雀ヶ原祭場地／行列観覧席／事務局等

内訳 1,000枚／1組

価格(税込) 1組：176,000円 2組：330,000円 3組：418,000円
4組：495,000円 5組：550,000円

申込締切 4月13日 (月)

※商品サイズ：上下345mm(持ち手部125mm)×左右243mm
※Adobe Illustrator 形式(ai、eps)でデータ入稿してください。

協賛広告に関するお問い合わせ

一般社団法人相馬野馬追

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町2-27

電話：0244-22-3064 ファクス：0244-22-3100

Eメール：somanomaoi.from937@gmail.com